

とちぎYMCA

みつかる。つながる。よくなっていく。

NO.409 2026
MARCH

YMCA News

3



2026年3月1日発行
公益財団法人とちぎYMCA
〒321-0904
宇都宮市陽東4-18-30
TEL:028-624-2546
FAX:028-624-2489
<https://www.tochigiymca.org>
発行人/塩澤 達俊
編集人/公益財団法人とちぎYMCA



子どもからもらったもの

表紙の写真から：2024年度スプリングプログラム。栃木のいちごを堪能しました！

「疲れた！」それが初めての活動が終わった後の正直な感想でした。大学で見た1枚のポスターには、活動内容の欄に川遊びやスキーと書いてあり、ただ楽しそうという好奇心から参加したことが7年間にわたるボランティア活動の始まりでした。長いリーダー生活を振り返り、本当に多くの出会いや出来事があったことを思い出します。

野外活動やキャンプなどたくさんの活動を通して、子どもたちに1つ共通していることがあると気づきました。それは「目の前の出来事に、今この瞬間全力で取り組む」という姿勢でした。紙飛行機の飛距離、鬼ごっこでのダッシュ、工作の一つひとつなど、どの瞬間を切り取っても子どもたちは全力で取り組んでいました。その姿を見て、私は成長するにつれていつの間にか「効率」や「力を抜く」ことを覚え、無意識のうちに限界を決め、行動していたのだと気付かされました。「大人」の私は、「次があるから体力を温存しよう」とか、「今はこれくらいで十分だろう」と先のことを考えて、つい力をセーブして

しまいがちです。しかし、子どもたちにとっての「今」は二度と来ない唯一無二の時間であり、ただ目の前の出来事に全てを使い切ることには夢中でした。そんな子どもたちと過ごすうちに、私も全力で向き合ってみようと考えました。一緒に全力で走り、紙飛行機に一喜一憂し、本気で悔しがり笑うようになりました。効率を捨てて何かに没頭した後、残ったものは、単なる疲労感だけでなく心からの充足感でした。

7年間のボランティア活動を終えようとしている今、子どもからもらった「一瞬一瞬を全力で生きる」という贈り物は、想像以上に大切なものでした。ただ「楽しそう」という好奇心から始まったボランティア活動は、私にかけがえのないものを届けてくれました。この7年間、出会った子どもたちに感謝を伝えたいと同時に、幸多き人生であることを願っています。

とちぎYMCAユースボランティアリーダー
西 勇祐(ケンイチリーダー)

とちぎYMCAの使命

～みつかる。つながる。よくなっていく。～

2025年度とちぎYMCA年間聖句

《善きサマリア人》の喩え

新約聖書 ルカによる福音書 第10章25節～37節



桜小 子どもの家 さくらクラブ ピンクシャツデー



2月3日は「節分」でした。「福豆」を食べ「ひいらぎの由来」や「鬼」に関する紙芝居を読み、行事の意味を知りながら取り組むことができました。

2月25日のピンクシャツデーに向けてさくらクラブでは「言われたらうれしい言葉」をカードに書きピンクシャツに貼りました。「ありがとう」「大丈夫だよ」「ごめんなさい」という言葉が多く、子どもたちの優しさを感じました。また、保護者の方へ花の絵と感謝の言葉を添えた絵手紙を書きました。取り組む姿に成長を感じ、うれしい気持ちになりました。

また、寒さ厳しい中でも戸外で鬼ごっこやサッカー、なわとび等で体を動かし元気に走り回っています。今後も子どもの声に「耳」を傾け笑顔で過ごせるように見守ってまいります。

ようとう保育園

雪に興味津々な子どもたち



2月9日の朝登園してくると、積もった雪を見て「雪あそびできる?」「雪白いね!」と早速雪に興味がある子どもたち。この日は、朝から外に出て雪あそびを楽しみました。外に出ると雪を触ったり雪の上を歩いたりして「冷たい!」「ふかふかだね」と雪の温度や感触を触れて楽しんでいました。しばらくすると雪の冷たさにも慣れ「雪だるまつくりたい」「雪合戦したい」と子どもからやりたいあそびを伝えてくるようになり、保育士や友だちと一緒に体をたくさん動かしながら雪あそびを楽しむことができました。

冬の自然に触れながらどんどんやりたいことが出てくる子どもたちのあそびを見て、子どもの気付きや視点から学ぶことがあると改めて感じたと同時に、自分たちで考え、友だちや保育士に言葉や身振り手振りで、やりたいことを伝える姿勢に成長を感じました。今後も保育の中に季節ならではの自然を取り入れることで、子どもの感性や心が成長していくことが楽しみです。

宇都宮市まちづくりセンター まちぴあ

連続講座第2弾を 開催しました!



連続講座の第2弾『初心者でもわかる資産運用講座～「人生100年時代」に備える輝くセカンドライフに向けて～』を開催しました。

講師には、1級ファイナンシャルプランニング技能士の森 祐輔先生を講師としてお迎えし、全3回にわたり、資産運用の基本からリスクを抑えた資産の考え方で、幅広い内容についてご講義いただきました。

講座終了後には、受講者の方々が率先して質問される姿も多く見られ、本講座が皆さまにとって大変有意義なものとなったことがうかがえました。

今後も連続講座を順次開催予定ですので、ご関心のある講座がございましたら、ぜひお申込みください。

宇都宮市青少年活動センター トライ東

トライ東の自習室



3月は受験や進級・進学を控え、勉強に身が入る季節ですね。

実は、トライ東には宇都宮市内に在住または在勤・在学をされている35歳未満の方なら、どなたでも無料で利用できる「自習室」がございます。「家だつてい気が散ってしまう」「図書館の自習室がいつも満席で利用できない」そんなときは、トライ東の自習室をご利用ください。もちろん無料Wi-Fiも完備しています。

この自習室では、学校の定期テストに向けて勉強している学生さんや、受験に向けて黙々と机に向かう受験生など、さまざまな方が目標に向かって学習に励んでいます。静かな環境で集中して学習したい方にはオススメです。

自習室は、空き教室を活用して開放しているため、予約状況により自習室をご利用いただけない場合もございます。あらかじめご了承ください。なお、空き状況の確認はお気軽にスタッフまでお問い合わせください。

この春の頑張りを、トライ東は応援しています!

さくらんぼ幼稚園

「卒園を迎えるみんなへ」年長担任より



気がつけば、卒園の日がすぐそこまで近づいてきました。毎日一緒に過ごしてきた時間が、もうすぐ一区切りを迎えると思うと、嬉しさと寂しさが入り混じった気持ちになります。入園したころは、初めての園生活にドキドキしながら登園してきた子どもたくさんいましたね。おうちのひとと離れるのが不安で涙を流し、身の回りのことを一つ一つ覚えながら過ごしていたあの頃の姿が、今でも思い出されます。進級していくにつれて友だちと関わる楽しさを知り、気持ちを言葉で伝えたり相手の思いに気づいたりしながら、心も体も大きく成長していきました。

うまくいかず悔しい思いをすることもりましたが、そのたびにみんなは挑戦する気持ちと乗り越える力を身に付け、少しずつ成長していきました。できなかったことができるようになったときの嬉しそうで、でもちょっとり恥かしそうで、誇らしげで...そんな様々な表情や友だちと喜びを分かち合う姿は、保育者にとって何よりの宝物です。

保護者の皆さまには、これまで園の活動にご理解とご協力をいただき、またご家庭であたたかく子どもたちを支えてくださり、本当にありがとうございます。皆さまの見守りがあったからこそ、子どもたちは安心して毎日を過ごし、様々なことを挑戦することができました。

もうすぐ始まる新しい生活の中で、不安なことや戸惑うこともあるかもしれませんが、さくらんぼ幼稚園で過ごした日々や、友だちと一緒に笑い合い乗り越えてきた経験は、これからの大きな力になります。みんながそれぞれの場所で、自分らしく輝いていくことを心から願っています。

ご卒園、おめでとうございます!

クラウドファンディング目標達成のご報告とお礼



この度、かねてより挑戦しておりました「チャリティーピクセルボール体験会&交流会」のための、クラウドファンディングにおきまして、おかげさまで当初の目標金額を無事に達成いたしましたことをご報告申し上げます。プロジェクト期間中、多大なるご支援を賜りましたこと、また心温まる応援のお言葉を多数いただきましたこと、心より深く感謝申し上げます。

今回の挑戦を通じ、日本国内外のユースが経済的な理由で未来をあきらめることなく、広い世界へ飛躍できる機会を一つでも多く作りたいと考えております。お預かりした大切な支援金は、予定通り『チャリティーピクセルボール体験会&交流会』の運営費用として大切に活用させていただきます。このイベントについては、終了後、ホームページや次月号にて報告させていただきます。

引き続き、温かいご声援をいただけますようお願い申し上げます。

支援総額 125,000円

グローバルスタディキャンプ in フィリピン2026 ～フィリピンの若者と共に考え、共に学ぶ～

日本の抱える課題やフィリピンにある課題を知り、自らの社会をより良くするためにできることについて学び合いましょう。

日程：2026年8月8日(土)～8月15日(土)の7泊8日

対象：15歳以上で、国際交流・協力に関心があるもの

費用：【一般】 230,000円

(プログラム費120,000円・旅行代金110,000円)

【学生】 190,000円

(プログラム費80,000円・旅行代金110,000円)

※学生にはYMCAより補助が出るため、上記の金額となります。

申込締切：2026年4月30日(木)

興味のある方は、オンライン説明会にご参加ください(予約制)

①2026年3月15日(日)9:00～10:00

②2026年4月3日(金)19:30～20:30

※個別説明会も可能です

【問合せ】公益財団法人とちぎYMCA 担当：小野寺
(電話) 028-661-7451

E-mail: info-international@tohigi-ymca.org



←詳細は
こちらから

フードドライブご協力のお礼

食品の寄付「フードドライブ」のご報告

1月からひと月、食品の寄付「フードドライブ」に多くの方たちからご協力を頂きました。宇都宮YMCA、さくらんぼ幼稚園、YMCA EAST、トライ東、まちぴあから食品が沢山集まりました。(この他に、ようとう保育園でも「フードドライブ」を実施しました。)有難うございました!!

特に、最近はフードバンクの利用者が増加していることがあり、「フードバンクうつのみや」からは今回のような食品の寄付に感謝の言葉をいただきました。

私たちは年に2回実施していますが、この機会をはずしても食品寄付がございましたら、フードバンクうつのみやに連絡の上、届けてください。YMCAの事務所でも結構です。食品を無駄にせず必要な方たちに届くよう今後もご協力を宜しくお願いします。

※フードバンクうつのみや「ふーばハウス」 宇都宮市宝木町2-2554-99

※フードバンク事務所 宇都宮市中央2丁目7-6 (市役所のすぐ近く!)



塩澤総主事の、

VOL



#他流試合 #ライオンズクラブ
#栃木県知事 #下野市長 #U字工事

もうすぐ年度が変わって、みなさんの環境も変化がありますね。進級、進学、異動、新しい出会い。期待と同時に、少しの不安を感じている人もいるかもしれません。新しい季節は、新しい自分とこれまでの自分との他流試合でもあります。

「他流試合」とは、本来は武道の世界で、自分とは異なる流派と交わり、学び合うことを意味します。勝ち負けを競うためではなく、違いに触れ、自分を磨くための出会いです。私たちの日常にも、そんな他流試合の場面はたくさんあります。

1月24日(土)オリオンスクエア、県内35のライオンズクラブが主催した「未来子ども支援シンポジウム」で、まさに他流試合が生まれていました。高校生ボランティアグループ「つぼみ」は、出張子ども食堂(おでんキッチンカー)に挑戦。地域の大人や支援者と力を合わせる中で、普段の活動とは違う視点や反響に出会いました。

さらに、「つぼみ」代表の齋藤天翔くん(ラム・リーダー)はトークセッションに登壇。栃木県知事、下野市長、U字工事、他校の高校生や大学生(宇大の白岩大夢くん・ダンニー・リーダーも一緒)と語り合い、それぞれの立場や考え方に触れる時間となりました。年齢も経験も異なる人たちとの対話は、まさに実践的な他流試合だったはず。他流試合は、違いを否定することではありません。違いに出会い、考え、少し視野を広げてみる。その積み重ねが、自分自身をしなやかに、そして強くしてくれます。

新しい季節、新しい出会いを前向きな他流試合として楽しみながら、一歩ずつ自分を高めていきたいですね。



▲出張子ども食堂(おでんキッチンカー)を運営する高校生ボランティア「つぼみ」のメンバー



▲同シンポジウムのトークセッションで、「つぼみ」代表の齋藤天翔くん(写真右から2番目)が知事や市長らと意見交換を行った



とちぎYMCA

維持会員
法人会員

とちぎYMCA 維持会員・法人会員

募集中

現在の《とちぎYMCA》は、社会の資金で賄われる制度事業の“外側”に新しい活動を拡げております。

官と民間の活動をあわせもつYMCAですが、みなさまからの貴重な寄付によって、フレキシブルで、創造的で、ボランティアな部分を表現する最もYMCAらしい活動を継続することができます。みなさまのお支えによって続けられますことに感謝申し上げます。

【新規申込み方法】

- お電話 (028-624-2546) 資料をお送りいたします。
- ホームページより (QRコード)
- 各YMCA 事務所にて

【継続申し込み】

- 維持会員費をお支払いください。
- ホームページより (QRコード)
- 各YMCA 事務所にて



希望ある豊かな社会に。
平和を実現していくチカラに。
「よくなる」連鎖をYMCAと。